

当番世話人挨拶



第17回日本先進糖尿病治療研究会を2017年10月21日（土）、新潟市朱鷺メッセにおいて開催させていただきますこと、心より御礼申し上げます。

今回のメインテーマは、“先進糖尿病治療の進歩と実践”です。小林哲郎先生より「1型糖尿病の成因解明と今後の新しい治療の展望」についてご講演いただき、および曾根より「ビッグデータ

解析を活かした糖尿病の予防と治療の新しい戦略」についてお話しさせていただきます。ランチョンセミナーでは新しいCGMを利用した糖尿病治療について西村先生から講演いただきます。

シンポジウム「1型糖尿病とともに生きる」では、生きた治療を学べる機会として、ご自身が1型糖尿病の治療を実践されているパネリスト4人をお呼びしました。専門医の方のみならず、広く一般医家の先生方、メディカルスタッフ、患者様にも足を運んでいただきたいと思います。

また米国より Bruce W. Bode 先生をお招きして、欧米で臨床応用が始まっている closed loop pump（人工すい臓）治療や低血糖時自動停止装置付きポンプについて、講演（同時通訳あり）いただきます。

京都大学 iPS 研究所からは、川口義弥先生をお招きして「iPS 細胞を用いた立体的臓組織作成」をご講演いただきます。

一般演題では、インスリンポンプ治療、CGM、SAP、1型糖尿病の臓変化など、22題の応募をいただいております。皆様より多くの演題をいただきましたこと御礼申し上げます。

会場は、信濃川の河口近く、広い空と水辺を眺望できる場所です。多くの皆様の参加を楽しみにお待ちしております。参加いただく全ての皆様に、感謝申し上げますとともに、本会が、先進糖尿病治療の推進と普及、1型糖尿病の皆様の未来に貢献できることを祈念しております。

津田 晶子（新潟医療生活協同組合木戸病院 糖尿病センター 糖尿病内科）

曾根 博仁（新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科）

第17回 日本先進糖尿病治療研究会当番世話人